

アデノウイルス感染症とは？

先日、ゴルフ場で気付いた事がありました。**デイゴの花**が、今年は特に色鮮やかに咲き誇っているのが目に留まった事です。例年以上に目立った光景でした。デイゴの花が満開の年は、台風の当たり年と聞きます。そう言えば去年はデイゴの花が目立たず、台風もほとんどなかった年でしたネ。これから台風には要注意です。

さて最近、39度から40度の高熱が続く風邪が、子ども達に流行しています。咳、鼻水、頭痛や喉の痛みを訴え、時々筋肉痛もあり、食欲不振、嘔吐、下痢を伴う場合もあります。「目やに」がある子もいます。抗生剤を処方していますが、熱の下がりが悪く、親御さんが心配して再び受診する子がいます。**その正体は、アデノウイルスでした。**

インフルエンザウイルスは有名で知らない人はいないと思いますが、アデノウイルスは聞いたことがない人が多いのではないのでしょうか。最近ではインフルエンザと同じように綿棒で喉をこすり、**10~15分で簡単にアデノウイルス感染の診断**ができるようになりましたので、我々医療人にも徐々に認知されてきております。

アデノウイルスは、現在49種類の血清型があり、その種類によって様々な症状があります。

- ① **上気道炎**:一般的な風邪症状です。発熱、咳、鼻水が主で、時々食欲不振、全身倦怠感、筋肉痛があり、インフルエンザに症状が似ています。
- ② **咽頭結膜炎(プール熱)**(血清型3型):これが一番有名です。潜伏期間は5~7日で、

高熱が3~7日続き、喉の痛みや目が真っ赤に充血し、目やにがあります。夏にプールで感染する事が多いので「プール熱」と言われています。学校法定伝染病に指定されており、症状がなくなって後2日間までは登校・登園禁止となります。

- ③ **扁桃腺炎**:喉の奥にある扁桃腺に白い膿が付いています。高熱が続くため、細菌感染と区別が付きません。
- ④ **流行性角結膜炎**:高熱や喉の痛みはありませんが、目の充血と目やにが主です。
- ⑤ **胃腸炎(嘔吐下痢症)**:乳幼児の嘔吐や下痢の原因となるウイルスの1つです。
- ⑥ **他に重症な肺炎(7型)、出血性膀胱炎(11型)、無菌性髄膜炎**など入院加療が必要になる場合もあります。

現在、アデノウイルス感染症の診断はできませんが、残念ながら特効薬はありません。従って、**水分・栄養補給、室内での安静**が大切です。感染経路は、便、飛沫感染、直接接触によりますので、おむつ交換や「目やに」に注意し、うがいや手洗いを励行して、タオルは共用しないことです。タオルや下着は別々に洗濯し、お風呂も一緒には入らないようにしましょう。登校・登園も症状が落ち着いて、2日ほど経ってから行かせましょう。 たまなほ

